

## ほけかんだより2021 冬号

### 不織布マスクを着用しましょう

大分大学保健管理センター 教授

工藤欣邦

2021年11月現在、日本国内での新型コロナウイルス感染症（以下、COVID-19）の新規感染者数は、ワクチン接種の効果等でかなり減少してきています。大分大学保健管理センターにおいても学生・教職員の皆様方からの体調不良の報告が、10月下旬頃から減少してきました。ただし、海外では新たな変異株が出現しており、感染拡大防止対策における行動制限や入国制限の緩和等から第6波の到来も危惧されていますので、油断は禁物です。

日本はこれから冬を迎えますので、COVID-19に限らず風邪やインフルエンザ等の呼吸器感染症が増加してきます。呼吸器感染症に対する最も効果的な予防法は、マスクの着用です。近距離で会話した場合でも、感染者がマスクを着用した方が、健常者がマスクを着用するよりも効果が高く、感染者と健常者の双方がマスクを着用することで、より感染が抑えられることがわかっています。

マスクは、その素材によっても効果に違いがあり、不織布マスクが最も効果が高く、布マスクやウレタンマスクは不織布マスクと比較してやや効果が劣ることが知られています。また、不織布マスクを着用していても、適切に着用できていなければ効果が減弱します。着用したマスクの上下・表裏が逆になっていないか、顔とマスクの間に隙間ができていないか等をきちんと確認するようにしてください。

マスクの効果については下記をご参照ください。

[mask\\_kouka\\_20201215.pdf \(corona.go.jp\)](#)

[感染拡大防止に向けた取組 | 内閣官房新型コロナウイルス等感染症対策推進室 \(corona.go.jp\)](#) (動画)